

# 静岡放射能汚染測定室だより

第16号

2012年12月10日発行



「yukimaturi」 イラスト・清重伸之・

## 目次

- 静岡 測定結果報告 ……1
- 静岡 測定についての補足 ……3
- 浜松分室 測定結果と補足 ……4
- 第14回『放射能を話そう♪』報告……5
- 測定からみえてくるもの ……6
- 『静岡の娘へ』(13) 河野益近寄稿 ……7

- 測定室よりお知らせ  
環境放射線測定器貸出について ……8
- 第15回『放射能を話そう♪』 ……8
- 第16回『放射能を話そう♪』 ……9
- 測定室の冬休み・測定室日誌 ……9
- 浜松分室「開設記念のつどい」報告……9
- 静岡市地域安心マップ ……10
- プラムフィールドの窓・測定室の風 ……11

会員頒布用価格 1部 500円

# 測定結果報告【静岡】

2012年10月12日～2012年11月13日

・測定値の単位：ベクレル/kg、( ) 内の数値は検出限界値（単位はベクレル/kg）

・ND：不検出 ・「↓」：検出限界値以下 ・測定器：NaIシンチレーション検出器

No.	補足	検体名	産地・採取地	採取年月日	検体情報	セシウム137	セシウム134
1		生アーモンドバター	アメリカ カリフォルニア州	2011年8月1日		ND(1.51↓)	ND(1.69↓)
2	※	ミネラルウォーター	アメリカ カリフォルニア州	2012年7月9日	「クリスタルカイザー」 大塚食品 【賞】2014年7月9日	ND(1.59↓)	ND(1.91↓)
3		白米	青森県青森市	2012年9月27日		ND(1.45↓)	ND(1.63↓)
4		白米	青森県青森市	2012年10月15日		ND(1.65↓)	ND(1.85↓)
5	※	ヤーコン生葉	青森県青森市	2012年10月15日		ND(1.11↓)	ND(1.25↓)
6		〃	〃	〃	【GE検出器 (EMFジャパン) 測定結果】	ND(0.31↓)	ND(0.28↓)
7		ホタテ	宮城県牡鹿郡	2012年10月19日	活きホタテ	ND(1.3↓)	ND(1.49↓)
8		白米	福島県会津市	2012年10月22日	測定依頼者による福島支援米	ND(1.23↓)	ND(1.48↓)
9		白米	福島県田村市	2010年10月15日	玄米で保存し、2012年10月に精米	ND(1.47↓)	ND(1.68↓)
10		玄米	栃木県那須郡	2012年9月		ND(1.95↓)	ND(2.23↓)
11		玄米	埼玉県久喜市	2012年10月8日		ND(1.78↓)	ND(2.15↓)
12		玄米	静岡県富士宮市	2012年10月		2.34±1.40	1.74±1.58
13		白米	静岡県静岡市葵区	2012年10月6日	No.16の田で収穫	ND(1.02↓)	ND(1.23↓)
14		ぬか	静岡県静岡市葵区	2012年10月6日	No.13の白米の精米時のもの	ND(1.21↓)	ND(1.47↓)
15		玄米	静岡県静岡市葵区	2012年10月6日	No.16の田で収穫	ND(1.07↓)	ND(1.3↓)
16		土田	静岡県静岡市葵区	2012年10月15日	No.13・No.15の米を収穫した田	6.68±3.07	ND(2.39↓)
17		玄米	静岡県掛川市	2012年9月29日		ND(1.75↓)	ND(2.11↓)
18		玄米	静岡県掛川市	2012年9月15日		ND(1.54↓)	ND(1.77↓)
19		玄米	静岡県浜松市北区	2012年10月1日	こしひかり	ND(1.6↓)	ND(1.95↓)
20		玄米	静岡県浜松市北区	2012年10月1日	いせひかり	ND(1.65↓)	ND(2.01↓)
21	※	さつまいも	静岡県静岡市葵区	2012年10月4日	松野の畑で収穫	ND(2.05↓)	ND(2.29↓)
22		里芋	静岡県静岡市葵区	2012年10月24日		ND(1.68↓)	ND(1.93↓)
23		大根	静岡県静岡市清水区	2012年10月27日	葉もともに測定	ND(1.53↓)	ND(1.76↓)
24		みかん	静岡県浜松市北区	2012年10月25日		ND(1.73↓)	ND(1.98↓)
25		みかん皮	静岡県浜松市北区	2012年10月25日	No.24のみかんの皮	ND(1.54↓)	ND(1.8↓)
26		柿	静岡県袋井市	2012年10月30日		ND(1.43↓)	ND(1.64↓)
27		味噌	栃木県那須郡	2011年11月1日	製造日2011年12月1日	2.05±2.56	ND(1.77↓)
28		真昆布	北海道函館市	2012年8月1日		ND(1.64↓)	ND(1.97↓)
29		根昆布	北海道函館市	2012年8月29日		ND(1.64↓)	ND(1.96↓)
30		牛乳	静岡県富士宮市 掛川市 浜松市	2012年10月17日	「牧場のめぐみ牛乳」 フクロイ乳業 【賞】2012年10月27日	ND(1.28↓)	ND(1.53↓)

No.	補足	検体名	産地・採取地	採取年月日	検体情報	セシウム137	セシウム134
31		きな粉	高知県高岡郡	2011年10月1日		ND(1.51↓)	ND(1.69↓)
32		〃	〃	〃	【GE検出器(京大)測定結果】	0.7	0.37
33		卵	静岡県富士市	2012年10月29日	生活クラブ	ND(1.43↓)	ND(1.60↓)
34		粉末杜仲茶	山梨県 長野県	2011年10月1日	製造日2012年7月16日	ND(1.73↓)	ND(2.11↓)
35	※	飲用杜仲茶	山梨県 長野県	2011年10月1日	No.34の飲用茶	ND(1.19↓)	ND(1.43↓)
36	※	餃子	静岡県中部地区(豚肉)	2011年10月1日	「国産原料にこだわったスープ餃子」 こだわりの味共同組合認定品 製造2012年10月26日 【賞】2014年11月1日	ND(1.02↓)	ND(1.17↓)
37		わかめ	岩手県下閉伊郡	2012年4月1日	「三陸さしみ若布(塩蔵)」こだわりの味協同組合認定品	ND(1.71↓)	ND(2.04↓)
38		わかめ	岩手県宮古市	2012年5月~6月	「三陸天然若布(塩蔵)」こだわりの味協同組合認定品	ND(1.07↓)	ND(1.28↓)
39		水道水	静岡県静岡市葵区	2012年11月1日	静岡放射能汚染測定室の水道水	ND(1.03↓)	ND(1.24↓)
40		なす	静岡県静岡市駿河区	2012年10月17日	石上農園	ND(1.68↓)	ND(1.93↓)
41		みかん	静岡県静岡市駿河区	2012年10月28日	石上農園	ND(1.17↓)	ND(1.31↓)
42		みかん皮	静岡県静岡市駿河区	2012年10月28日	No.40のみかんの皮	ND(1.9↓)	ND(2.13↓)
43		りんご	長野県長野市	2012年10月17日	「秋映」サンファーム(バイオゲミューズの会)	ND(1.34↓)	ND(1.54↓)
44		スキムミルク	北海道紋別市周辺	2012年2月5日	「スキムミルク」よつ葉乳業 【賞】2013年2月7日	ND(1.29↓)	ND(1.49↓)
45		〃	〃	〃	【GE検出器(京大)測定結果】	0.8	0.2
46		スキムミルク	北海道紋別市周辺	2012年7月20日	「スキムミルク」よつ葉乳業 【賞】2013年7月23日	ND(1.78↓)	ND(2.04↓)
47		塩	東京都大島町	2011年11月 ~2012年4月	「海の精 あらしお」海の精㈱ 【ロット】2D11BH02	ND(1.63↓)	ND(1.91↓)
48		みりん	岐阜県(もち米・米麴)	2009年秋	「三年熟成本みりん 福来純」白扇酒造 【賞】2014年9月	ND(1.57↓)	ND(1.76↓)
49		料理酒	岐阜県(もち米・米麴)	2010年秋	「花美蔵 純米料理酒」白扇酒造 製造日2012年9月	ND(1.53↓)	ND(1.71↓)
50		味噌	山形県西置賜郡	2010年秋	「手前みそ」白鷹農産加工研究所 【賞】2013年1月18日	ND(1.33↓)	ND(1.49↓)
51		味噌	長野県安曇野市(米・大豆)	2010年秋	「天然醸造 無添加 発芽玄米味噌」 こだわりの味協同組合認定品 【賞】2013年4月10日	ND(1.83↓)	ND(2.05↓)
52		味噌	長野県安曇野市(米・大豆)	2010年秋	「天然醸造 無添加 発芽玄米味噌」 こだわりの味協同組合認定品 【賞】2013年4月30日	ND(1.31↓)	ND(1.46↓)
53		きな粉	北海道	2011年秋	「国産特別栽培大豆のきな粉」 こだわりの味共同組合認定品 【賞】2013年9月25日	ND(1.75↓)	ND(2.04↓)
54		小麦粉(強力粉)	北海道	2011年秋	「北海道産小麦のパン用小麦粉」 こだわりの味協同組合認定品 【賞】2013年2月6日	ND(1.58↓)	ND(1.81↓)
55		塩	中国 モンゴル自治区	輸入のため 確認できず	「一億年以上前の岩塩」 こだわりの味協同組合認定品 【ロット】011024	ND(1.48↓)	ND(1.65↓)
56		土 畑	静岡県富士宮市	2011年10月1日	市民農園	14.69±2.32	8.38±2.4

## 信州・まつもと土壌測定プロジェクトⅡ (長野県北安曇郡・松本市・大町市)

No.	補足	検体名	産地・採取地	採取年月日	検体情報	セシウム137	セシウム134
57		土 山斜面	長野県北安曇郡池田町広津4096	2012年10月21日		9.14±1.63	3.16±1.7
58		土 畑	長野県松本市中山	2012年10月22日	山間借地のため詳細不明	ND(2.53↓)	ND(2.67↓)
59		土 公園	長野県松本市横田1丁目27	2012年10月14日	公園名、確認できず	ND(2.17↓)	ND(2.29↓)
60		土と砂 公園	長野県松本市蟻ヶ崎2丁目4	2012年10月14日	公園名、確認できず	ND(2.09↓)	ND(2.39↓)
61		土	長野県松本市中川2184	2012年10月21日	斜面堆積物	5.16±2.47	4.82±2.76
62		土	長野県松本市新村3332	2012年6月20日		ND(2.04↓)	ND(2.33↓)
63		土 庭	長野県大町市平23112	2012年10月19日	自宅	ND(2.07↓)	ND(2.5↓)
64		土 庭	長野県大町市平23112	2012年10月19日	自宅 ふきだまりの花壇	8.02±1.86	3.46±1.96
65	※	土 畑	長野県大町市平20378	2012年10月19日		13.91±2.81	ND(2.91↓)
66	※	土 畑	長野県大町市平14954	2012年10月19日		2.47±1.67	ND(2.14↓)
67		砂 砂場	長野県大町市平1842	2012年10月19日	自宅	ND(1.67↓)	ND(2.01↓)
68	※	土 畑	長野県大町市平8000	2012年10月19日		7.55±1.74	ND(2.61↓)
69	※	土 軒下	長野県大町市平8000	2012年10月19日		16.62±2.18	ND(2.68↓)
70		土 畑	長野県大町市平7267	2012年10月19日		ND(2.33↓)	ND(2.68↓)
71	※	土 山	長野県大町市平7267	2012年10月19日		39.81±3.86	ND(3.86↓)
72	※	〃	〃	〃	【GE検出器 (EMFジャパン) 測定結果】	37.9	ND(3.9↓)
73		土	長野県大町市大町5280	2012年10月19日	自宅	ND(2.77↓)	ND(2.93↓)
74	※	土 庭	長野県大町市大町2062	2012年10月19日		6.26±2.94	ND(2.56↓)
75		土 畑	長野県大町市大町4588	2012年10月19日		ND(2.58↓)	ND(2.73↓)
76		土	長野県大町市常盤7791	2012年10月21日	駐車場堆積物	5.8±2.57	3.78±2.8
77		土 砂場	長野県大町市美麻9068	2012年10月19日	自宅軒下	ND(2.19↓)	ND(2.5↓)

### 測定についての補足 【静岡測定室】

73 検体の報告をします (食品…52 検体・環境試料…21 検体)。

「検体情報」中の【賞】は、「賞味期限」の略です。

「測定についての補足」または「関連記事」のある検体に、※印をつけてあります。

No.2 採水地は、ウィードのシャスタ水源。メーカーでは、ロット毎に検出限界値 2 Bq/kg 以下で測定を行なっている。

No.21 測定室だより 13 号で掲載した「静岡市葵区松野 1175」の畑で収穫。セシウム 137-6.9 Bq/kg、セシウム 134-12.9 Bq/kg

No.35 No.34 の粉末杜仲茶 15g を 1500ml の湯で溶く。

No.36 添付のスープも入れ測定。小麦粉：北海道・静岡県／もち米澱粉：国産／駿河湾深層水塩／キャベツ：群馬県・長野県・千葉県・愛知県・静岡県／玉ねぎ：北海道／スープ (各種原料)：国産

No.5. 65. 66. 68. 69. 71. 72. 74 『測定から見えてくること』の記事を参照。

『測定を始めて・・・』

11月3日（土）に浜松分室での測定の受付を開始しました。まだまだ測定依頼の件数は少ないのですが、その分、自分が気になる食品を測定することで、少しずつ作業に慣れてきています。自分で測定する際は、検出されそうなものを敢えて選んで測定していますの

で、やはり検出されてしまうものもありました。検出されてしまったときは、自分の測定作業が持つ責任の重さに、改めて慎重に数値に向き合わなければと思いました。増量して測定をやり直したり、顧問の方々へご相談したりと、じっくり進んでいます。

■ 測定結果報告【浜松分室】

2012年9月13日～2012年10月13日

- ・測定値の単位：ベクレル/kg、（ ）内の数値は検出限界値（単位はベクレル/kg）
- ・ND：不検出 ・「↓」：検出限界値以下 ・測定器：NaIシンチレーション検出

No.	補足	検体名	産地・採取地	採取年月日	検体情報	セシウム137	セシウム134
78		粉糰節	静岡県焼津港	2012年		ND(1.6↓)	ND(1.9↓)
79		胚芽玄米ふりかけ	国内産	2012年		5.9	2.5
80		魚肉ソーセージ	日本海・北海道産 タラ/エソ/チダイ 他	2012年9月		ND(1.0↓)	ND(1.2↓)
81		白米	秋田県	2012年10月	あきたこまち	ND(0.9↓)	ND(1.1↓)
82		玄米	秋田県 大瀧村	2012年10月	あきたこまち	ND(0.5↓)	ND(0.6↓)
83		さんま	三陸沖	2012年9月	内臓・頭なし 流水洗い	ND(1.4↓)	ND(1.6↓)
84		さんま 内臓・頭	三陸沖	2012年9月		ND(1.7↓)	ND(2.1↓)
85		乾燥茶葉	静岡県天竜区	2012年6月		22.9	10.4
86		なめ茸加工品	長野県	2012年	原種菌 えのき茸	ND(0.7↓)	ND(0.9↓)
87		平茸	浜松市西区	2012年11月	自生	ND(2.3↓)	ND(2.7↓)
88	※	飲用茶	静岡県天竜区	2012年6月		ND(0.7↓)	ND(0.8↓)
89		小麦粉	福岡県	2012年10月19日		ND(0.8↓)	ND(1.9↓)
90		小麦粉	岩手県	2012年	全粒粉	2.8	1.8
91	※	蓮根	茨城県	2012年11月	節あり	13.9	8.0
92		小麦粉	岩手県	2012年		1.8	1.0
93		小麦粉	北海道	2012年	全粒粉	ND(0.5↓)	ND(0.6↓)

■ 測定についての補足【浜松分室】

No. 88 No.85 の茶葉 30g を 90℃のお湯 900ml に 60 秒間浸したものの

No. 91 蓮根は節部分の黒ずみを包丁で丁寧に取り除いた後、流水で十分洗い流したものをフードプロセッサーですり潰したものを使用（食用の状態での測定）。

## ■ 第 14 回『放射能を話そう♪』 11月 19 日(月) 報告と感想

進行：スタッフ 宮本万倫子 スカイプ部：浅羽愛 報告：スタッフ 加藤光代

参加者：10名（会員 3名 一般 1名 子供 1名 スタッフ 5名 スカイプ参加 1名）

今回は少人数で一つの机を囲んで、ゆったりとした「話そう会」でした。

★初めに自己紹介も兼ねて、それぞれからの報告を聞きました。保育園や小学校の給食についてアプローチをされているお母さん、硫酸塩エアゾルや雨の粒子が放射性物質を捕捉して拡散する様子についての報告や、高濃度汚染物質が静岡に持ち込まれた経緯についての疑問などが話題となりました。

★次に食べ物の摂り方についての疑問に答えて、放射能の有無だけを問題にするのではなく、牛乳や動物性タンパクの過剰摂取から、日本の伝統食、野菜などを活用した食卓のすばらしさに気付く良いチャンスとなるような色々な提案がありました。

★測定室からは高辻俊宏長崎大学准教授の測定調査による“ひと粒の超高濃度汚染米”についての驚きの報告や、林成之脳神経外科医師による脳のメカニズムから、子どもとの接し方や大人の思考の仕方に至るまで多様な話題で盛り上がりました。

★原発事故は「生き方」を見直すチャンスをもたらしてくれたのかもしれませんが・・・。

★最後に「心がざわざわして、落ち着かないので、初めてこの会に参加してみました」という若いお母さんに「又、おしゃべりしに来てね♪」とみんなでお見送り～～♪



### <感想>

静岡県伊豆松崎町在住 松尾俊一

話そう会も 14 回目だそうで、10 回ほど参加させて戴いたことになるだろうか。今回ほど参加者が少なかった事は初めてなので、少なからず寂しい想いをしたのは私ひとりではな

かったろうか。その分、スタッフの方々も含めて、一人ひとりの思いをじっくり聞く時間が持てた事は、貴重な機会であったのだろうけれど・・・。十数年前に馬場利子さんの知遇を得て、プラムフィールドに顔出しさせていただくようになり、母の介護に浜松に通う行き帰りの中継基地、またオアシスとしてスタッフの方々の温かいおもてなしに与らせていただいた日々は、プラムが今ほど多忙を極めてはいませんでしたので、じっくりと時間を掛けてお話をさせていただく機会もあり、充実した日々でした。

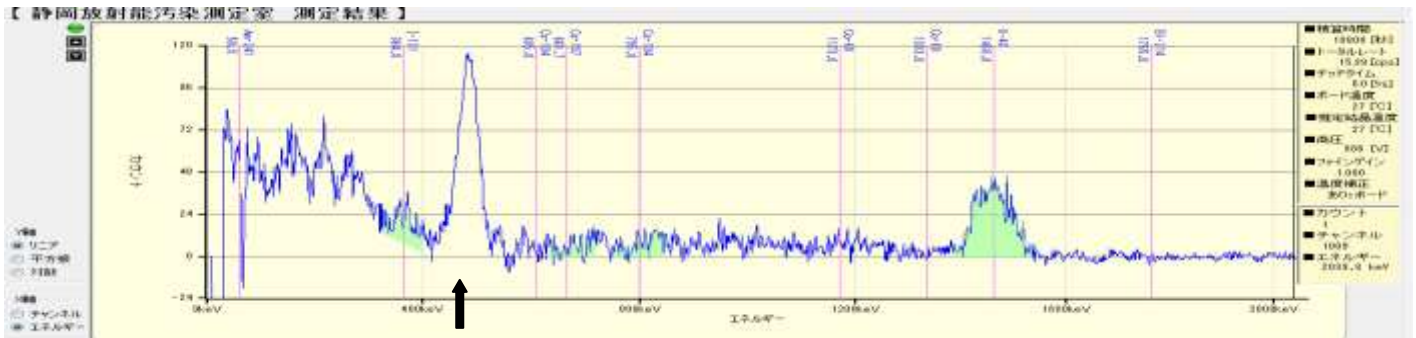
3.11 を経て、急激に慌ただしくなったプラムが、放射能汚染測定室を立ち上げ(正確には再開し)、膨大な量の作業で、超多忙を極めるようになり、いつお訪ねしてもお邪魔しないようにと思い、お話をさせていただく機会もあまり恵まれませんでしたので、『話そう会』に参加させていただく事が大切な機会となっていました。

参加させていただくと、遠路遥々来た甲斐があったと思うのが常で、スタッフの方々の分かち合いは元より、各地で原発や放射能汚染問題をはじめとする「いのちが大事」と言う様々な運動に地道に取り組まれている方々の、生の報告や分かち合いを共有させていただける有り難い機会です。とりわけ未来を担う若いお母さんたちの活躍には、大いに励まされています。

とは言え、話そう会は少しも堅苦しい場ではなく、楽しい“お茶べりタイム”の場でもあり、差し入れの美味しい、または珍しいお菓子類が常に振る舞われ、ジョークなども飛び交う和気あいあいとした場でもあるので、大きな楽しみです。そして、これは内緒ですが、ラッキーなら、プラムで扱っている安心安全な商品・食品が 1 割引きで分けていただける事も期待して良いですよ！

●植物内で濃縮する自然放射能の1例

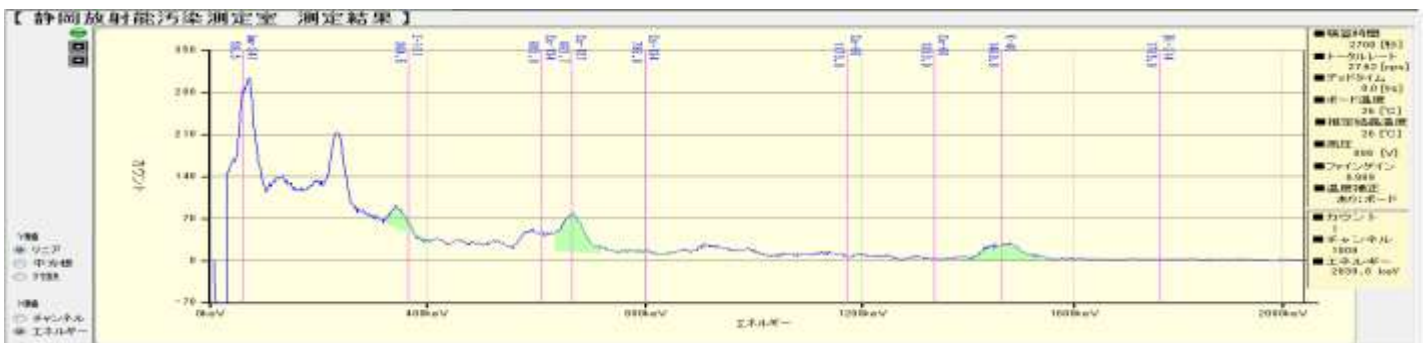
これは、10月24日に測定したヤーコン生葉 (No.5) のスペクトル図です。



表の文字が小さくて、判読していただけないかもしれませんが、ヨウ素 I-131 (364 keV) の右側に高い山があります。今まで農産物を測定した中で初めて見るピークでしたので、この山を示している放射性核種は何なのか、Ge 検出器で測定をしてもらいました。その結果、477keV 程度のガンマ線を出すベリリウム (Be-7) だという事が分かりました。Be-7 は成層圏などの大気中で宇宙線によって生成される一般的な自然放射性物質だという事ですが、ヤーコンの葉に吸収され、蓄積したようです。Be-7 の毒性を明記してある資料は見つけれませんでした。カリウム (K) 以上の濃度で放射性 Be-7 が植物内に蓄積されている一事例でした。

●チェルノブイリ原発事故の影響を残す土(セシウム 137 と 134 の比から考える)

今月の『地域安心マップ』信州・まつもと土壌測定プロジェクトIIの測定結果No.71のスペクトル図です。



ご覧の様に測定結果は、セシウム 137 は定量されましたが、セシウム 134 は不検出(検出限界 3 Bq/kg)でしたので、福島原発事故の影響によるセシウム 137 と 134 の定量比から考えて、この結果は在り得ないのではないかと考え、Ge 検出器で確かめてもらいました。その結果は、測定結果報告にありますように、Ge 検出器でも全く同じ結果が出ました。(No.72) この事から、試料を取った長野県大町市辺りはチェルノブイリ原発事故による汚染で、半減期 30 年のセシウム 137 の汚染が残っており、半減期 (約 2 年) のセシウム 134 は検出しなかったと推測できます。その他の大町市の土 65・66・68・69・74 も試料 71 の Ge 検出器での測定結果が出るまで、NaI シンチレーション(当室)で何回か測定し、同様の結果が出ました。つまり、長野県大町市は、福島原発事故による汚染はとて低かったと考えられます。信州・まつもとグループのその他の土の測定結果をよく見ると、長野県内の様子が観察できます。自然界では、単純にセシウム 137 と 134 の定量比が、減衰率を当てはめた『Bq数値』にはなっていない事があると分かった一事例でした。

放射能を観察する、理解を広げる活動を続けます。

「ドジョウのビデオを教えても、誰も笑わないわよ。」

「だって、面白いだろ」

「あなたの笑いと、普通の人の笑いは違うのよ」

「そうかなあ」

「あなたの笑いは、あなたを知っている人しか笑えないの」

「そうかなあ。でも娘は・・・」

というような話をお母さんとしていました。お父さんは絶対笑えると思ったのだけど・・・。お父さんはずっとお母さんを笑わせているのですが、お母さんの演技が優れているのかもしれませんが。でも選挙後を考えると、候補者が選挙前にする発言としては面白いでしょ。

そうそう、静岡でも震災がれきの本焼却が始まってしまいましたね。お父さんは基本的には放射能で汚染された瓦礫の広域処理には反対です。放射能が多いか少ないかではなくて、大原則として「がれきはがれきの発生源が処理する」や「放射能の汚染物は放射性物質の発生源が対処する」と考えています。こういうことも全て含めて、原子力発電のコストだと思います。今は税金でまかなわれている除染費用や、福島県だけで行われている健康診断の費用、その他事故にかかわるさまざまなこと。これが福島県を越えて各地に広がった場合はどのようなコスト計算になるのだろうか・・・。実被害だって風評被害だって、原発の発電コストに入ってくるはずです。

次に起こる事故を想定した避難訓練やヨウ素剤の配布なども、自治体が費用負担するものではなく、電力会社が負担する費用で、これも原発の発電コストに組み入れられるべきものです。

(お父さんは次に事故が起こるまでの間は、日本は何とかなると思っているわけではありません。すでに日本は終わっていると思っています。)これは、今まで「原発は事故を起こさない」「原発事故は起きるはずがない」といつてきた人たちが負担すべき費用だと、お父さんは思います。

最後には電気料金になるのだから、電気料金のシステムを含めてお前たちが考える問題です。お父さんにしたら簡単に答えが出せることですが、お前たちには難しいかもしれません。お前たちには、連れ合いや子供がいて、今を生きていかなければならないのですから・・・。でも、いま、お前が自分の手のひらを見て、そこにあることだけを考えるのではなく、できれば少し目線を高くして、手のひらの先にあるものを見て欲しいと思います。

でもお前は大丈夫、お母さんの娘なのだから・・・。あのお母さんの娘なのだから、しっかりと子育てができるはずです。もちろん連れ合いをコントロールすることもピカイチのはず。お父さんが保証します。今度、彼と二人だけで飲みたいと思います。お前とお母さんは留守番です！

「娘が困っているんだったら、話を聞いてやりなさいよ。忙しいなって言わないで。」

「いつでも聞くけど、忙しいんだ・・・」

「その忙しいが余計なの」

だんだんお母さんに似てきた娘へ

お前の連れ合いを慮っている京都の父より





## ■ 測定室よりのお知らせ

### ●シンチレーション式環境放射線測定器（堀場製作所：Radi）が寄贈されました。



（寄贈された測定器）

当室では、ガイガーカウンターの貸し出しを行っていますが、シンチレーション式の空間線量計を寄付(匿名希望)していただきましたので、12月より貸し出しをいたします。

ガイガーカウンターでは、線量が高めに出ますが、シンチレーション式で、より正確に測定をしていただけるようになりました。

貸し出しの需要が多かった去年は、貸出期間を2泊3日としましたが、貸出期間も延長・変更します。

<貸出期間>1週間

<レンタル料> シンチレーション式；Radi—2000円  
ガイガーカウンター；1000円

<借用申し込み> [mail:ssokuteisitu@yahoo.co.jp](mailto:mail:ssokuteisitu@yahoo.co.jp)  
Tel&fax:054-209-2021

## ■第15回『放射能を話そう♪!』のお知らせ

第15回 “放射能を話そう♪” を 12月13日(木) 13:30~15:00 に開きます。

参加費(お茶付)： 会員 300円

一般 500円

(測定室だより16号付)

### ゲスト；清重伸之 さん

「静岡放射能汚染測定室だより」の表紙絵を描いて下さっているイラストレーター清重さんをお迎えしておしゃべり会です！

清重さんは東京都在住。放射能から避難して、何度も九州で保養生活を過ごされています。

また、絵を描くことを通して、様々な市民活動に協力して下さっています。放射能のこと、人の想いのこと・・・そして、清重さんのポストカード展の期間でもありますので、イラスト制作の秘話なども伺えるのでしょうか？サインもお願いできるかもしれません？ちょっと素敵な Tea Time をご一緒下さい。

(清重伸之プロフィール) 東京芸術大学洋画科油絵専攻卒業。東京芸術大学大学院技法材料科卒業。迎賓館天井画修復に従事する。米国セントオラフ大学でアニメーション実習を行う。

### ●清重伸之さんのポストカード展 in フラムフィールド

イラスト：清重伸之

2012年12月3日(月)~21(金) 10:00~16:00

絵はがきと挿絵絵本も展示します。

温かくて、楽しくて、心がホッコリするような絵はがき・カードが皆様をお待ちしています。

お気軽にお立ち寄り下さい。(入場無料)



## ●第16回“放射能を話そう♪”は「手前味噌仕込み」をします！

日時：2013年1月25日(金)

13:30～15:30

場所：静岡市葵生涯学習センター

2F 食工房

参加費：会員 300円

一般 500円 (お茶付)

参加申し込みは、12月21日(金)までに。

麴の仕込みのため期日厳守でお願いします。

今年の1月に『味噌ワークショップ』を行い、味噌づくり体験していただきましたが、来年からは毎年行っている「手前味噌仕込み」(出来上がり約9kg)を行います。

味噌づくりに必要な材料は、すべて測定を行い、麴も米を持ち込んで仕込んでもらいます。材料費、持ち物などの詳細は、折込み“プラムフィールド通信”をご覧ください。毎年、仕込む味噌は特別な**我が家の味**になります。ご一緒に楽しんで下さい♪

※見学参加もできます♪♪

## ●測定室の冬休み

12月28日(金)～2013年1月6日(日)

測定もお休みします。

冬休み中、緊急連絡は mail または  
測定室 Ph:070-5034-0920 をお願いします。

## ●測定室だより第17号の発行は 1月下旬の予定です

## ■測定室日誌

11月14日(水) EMF211型測定器の交換(測定器の温度ドリフトを解消したプログラムに)

11月15日(木) 『測定室だより』編集会議  
11月19日(月) 第14回“放射能を話そう♪”

11月20日(火)～『測定室だより』16号  
編集開始

11月22日(木) スタッフ会議

12月1日(土) 放射能汚染測定室・  
浜松分室開設記念の集い

12月3日(月)～5日(水)『測定室だより』  
16号発行作業・

ボランティアスタッフ参加

## ●「浜松分室 開設記念の集い」12月1日(土)は大盛況でした。



分室室長 杉浦直樹さん

会場いっぱいの参加者



2003年に制作されたドキュメンタリー映画『真実はどこに?』ウラジミール・チュルトコフ監督(スイス)の上映と参加者意見交換の場には、おおよそ、〇〇人の方が参加してくださり、浜松市での測定活動への期待や、これからの暮らしについて知恵を出し合う場となりました。

会場には浜松汚染測定室時代からの旧会員さんやそのお子さんたち(30代に成長していて、頼もしい限りです)も参加して下さい、若いママたちと一緒に参加してくれた幼児の遊ぶ声が会場を元気づけてくれました。

浜松ですでに活動をしている市民測定室『ティード』のスタッフ全員も加わってくださり、終了後も意見交換が続き、浜松で人的なつながりの深さを実感しました。浜松の会員さんのおかげです。これからも宜しくお願いします。

# 地域安心マップ

静岡県静岡市(葵区・駿河区)

試料採取日：2012年5月20日～7月25日

『地域安心マップ』は、地域の環境放射能濃度を測定し、情報を共有する事により、安心して暮らせる方法を考え、子どもたちがより健やかに育つ具体的な方法話し合っていくためのデータをお届けしています。地域の環境試料の測定は、地域の方たちからの依頼を受けて行っています。地域の人々の子どもたちを守りたいという心が、このマップになりました。現状を知り、地域を創る勇気を全国に繋いでいきましょう。

※測定結果一覧は測定室だより13号に掲載しています。

※ND(↓)の値、セシウム合計値は、小数点第2位を四捨五入をしています。数値にはσ3の誤差があります。

①	17.1 30.1 47.1 土(畑)
---	------------------------------

②	12.9 6.9 19.9 土(畑)
---	-----------------------------

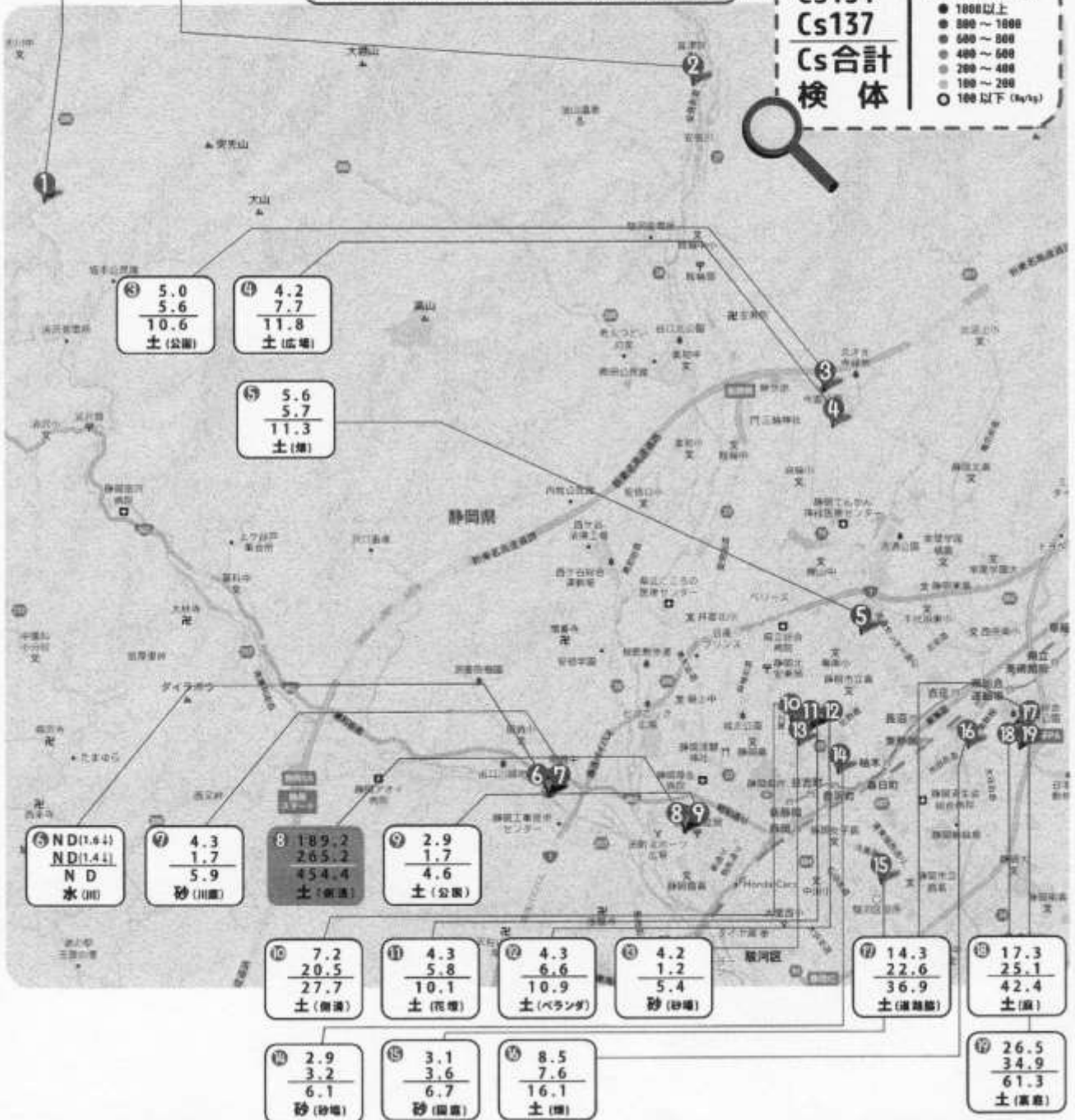
**ご案内**  
この地図はカラーで作成しています。  
完成地図をご利用の方は、A3判カラー100円、A4判カラー50円。  
データ購入は各版300円です。  
Tel : 054-209-2021 又は、  
mail : ssokuteisitu@yahoo.co.jp まで、お申込み下さい。

## マップのみかた

枠内の数字の単位はBq/kgで、以下の順序で並んでいます。枠内の色は濃度目安です。

<b>Cs134</b>	<b>セシウム濃度目安</b>
<b>Cs137</b>	
<b>Cs合計</b>	
<b>検体</b>	

- 1000以上
- 800～1000
- 600～800
- 400～600
- 200～400
- 100～200
- 100以下 (kgsp)



(宛名)

編集・発行：静岡放射能汚染測定室 事務局  
〒420-0882 静岡市葵区安東 1-2-3 プラムフィールド内  
TEL/FAX 054-209-2021 (月~金 10:00~16:00)  
測定室 Ph 070-5034-0920 (月~金 9:00~17:00)  
e-Mail [ssokuteisitu@yahoo.co.jp](mailto:ssokuteisitu@yahoo.co.jp)  
URL <http://sokuteisitu.plumfield9905.jp>

か実際に起こるとは…」と、私も含め今まで一緒に活動してきた人たちが一様に感じた衝撃でした。そして、子どもたちに取り返しのつかないことをしてしまったという自責の念も、心ある大人が一様に抱くことになりました。私に何ができるだろう？哲学ばかり語っていたって、世の中よくなりゃしない、行動しなければ。でも何をするにも「不器用」と言われながら育った私は、臆病でその一歩が踏み出せないでいました。そうしているうちに、ある集会で、丹波で子どもたちの保養キャンプをされた高橋さんが「想いがあればできるよ！」と私の背中をポンと押してくれたのです。

そして2012年2月19日、まだ大雪の残る高島のマキノに放射能から子どもたちを守るために何かしたいと思っていた人たちがかけつけてくれ、びわこ☆1・2・3キャンプの実行委員会が誕生しました。それから3月26日から始まる春キャンプまで、走れるだけ走った1か月余り、多くの方に支えられ、見も知らない方からもご支援ご協力いただき、地域の方々を巻き込み、無我夢中で取り組みました。参加してくれた子どもたちや親御さんからはたくさんのお礼をいただき、そして何より受け入れ側の私たちが、若いボランティアも含め、関わった人たち皆が多くの事を学び、各々が各々に考えさせられた忘れられない出来事になりました。

夏は無謀にも24日間という長期にわたって実施したので、さすがに子どもたちも様々な面を見せてくれました。彼らは決して自ら放射能の話をすることはありません。しかし、ふとした瞬間に見せる、これからどうなるのかわからない不安を抱えている姿に胸のつぶれる思いでした。本来なら国が、東電がすべきことなのでしょうけれど、命より金の政治家には当然任せられず、今も被曝し続けている子どもたちを放っておくわけにはいきません。命が基準の社会の実現を願って、その日がくるまで、できることは何でもしてゆきたいと思います。

## ■プラムフィールドの窓・測定室の風

滋賀県暮らしを考える会 藤本真紀子 寄稿

第一子を出産後、「暮らしを考える会」に出会いました。離乳食が始まった頃、さあ、何を食べさせたらいいのだろうか？今思うと、それが今日の私の出発点のような気がします。「暮らしを考える会」では食品を通していろいろな事を教わりました。農薬、添加物はもちろん、空中散布、原子力発電所、アトピー…そのうち縁あってスタッフに。たいして関心のなかった私は、生産者さんから、お客さんから、何かある度に勉強で、知れば知るほど、子どもたちを取り囲む環境の厳しさにただただ驚くばかりでしたが、多くの人に伝えて関心を持ってもらいたい、思いを同じくする人たちと上映会、講演会、署名活動、デモ等、活動も始めました。

東日本大震災による福島第一原発事故は、「反原発はずっと声にしてきたけれど、まさ